

水道事業の経営状況について



～おいしい水道水を支える～

水道局では、地下水由来の「おいしい水道水」を市民のみなさんに届けるため、自然の力を生かす浄水場や災害に強い施設を整備するなどさまざまな取り組み(8月号でお知らせ)を行ってきました。

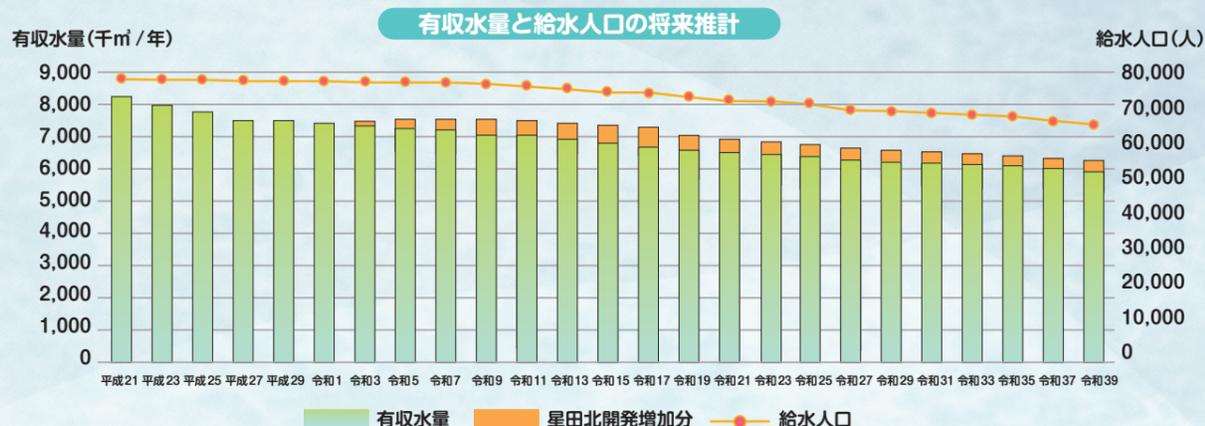
一方で、人口の減少や節水機器の普及による水需要の減少、水道施設の老朽化に伴う工事費の増大、世界的な物価の高騰等、水道事業をめぐる環境は、非常に厳しさを増しています。

そのため、今後も安全で安心な「おいしい水道水」を供給していくために、水道事業の安定経営が急務となっています。今月は、水道事業を取り巻く環境や経営状況についてお知らせします。

関水道局 ☎891-0016

給水人口の減少と水需要の減少

水を使う量が減ると、水道局の収入は減少します。しかし、水を作るための経費は、同じようには減少しないため、結果的に経営は苦しくなります。



- 少子高齢化による人口減少に伴い、給水人口の減少が予測されています。節水意識の向上や節水機器の普及等もあわせ、将来の水需要(有収水量)は減少傾向が続きます。
- 星田北エリアの開発による人口増で、年間約390千m³の有収水量の増加が見込まれていますが、市全体の水需要を押し上げるには至りません。

水道施設の老朽化と更新需要

近年、水を作るための施設(星の里浄水場、私市ポンプ場等)の整備や企業団水受水管の更新工事を行い、耐震率100%となりましたが、今後は、老朽化が進む送水管や配水本管の更新工事を進めていく必要があり、負担の増大が見込まれています。



- 昭和40年半ばから、民間工事も含めて急速に布設工事を進めたことから、法定耐用年数(40年)を経過した管路が全体の約1/3を占めており、管路の老朽化が進行しています。
- 老朽化した管路の更新には、多額の資金が必要になるため、計画的に工事を実施する必要があります。

経営指標	目安値	交野市 (令和3年度)	全国平均 (令和2年度)	大阪府 平均 (令和2年度)	※類似団体 平均 (令和2年度)
管路経年化率	目安値はないが低いほうが望ましい	44.6%	20.4%	32.7%	17.3%
管路更新率	目安値はないが高いほうが望ましい	0.24%	0.67%	0.99%	0.58%

※類似団体:市営かつ家庭用有収水量が80%以上の上水道事業者のうち、給水人口が5万人以上10万人未満である団体平均(91団体)

料金収入の現状



- 平成25年度以降、府警察学校の移転など大口利用者の撤退等が響き、平成24年度～令和3年度の9年間で料金収入はマイナス13%の大幅減となりました。

※令和2年度はコロナ禍での生活支援として、基本料金を4か月間免除した影響で大幅に料金収入が減少しましたが、これに相当する額については一般会計から負担金として補填されています。

経常収支比率の現状

経営指標	目安値	交野市 (令和3年度)	全国平均 (令和2年度)	大阪府 平均 (令和2年度)	類似団体 平均 (令和2年度)
経常収支比率	100%以上	104.5%	111.2%	109.9%	111.2%

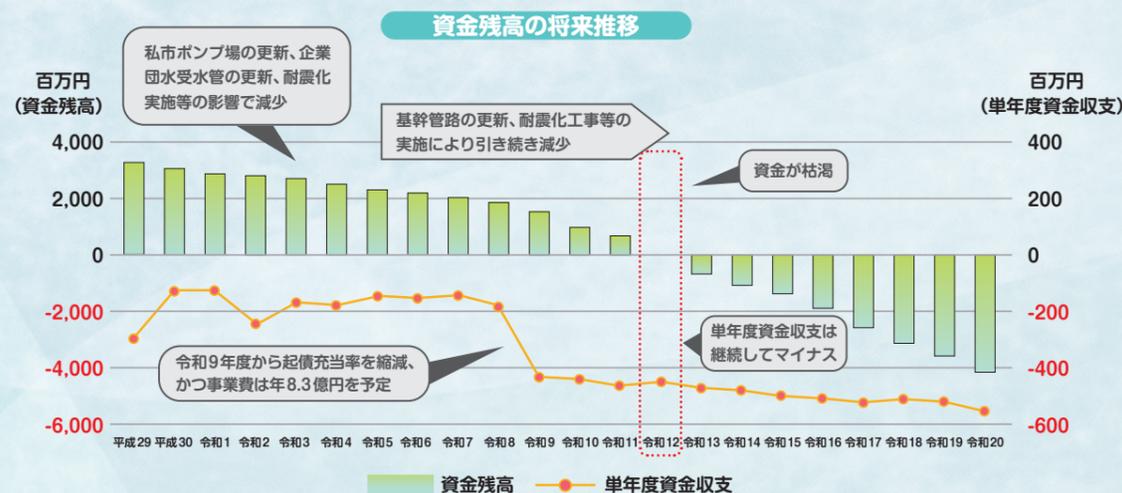
- 経常収支比率※は、料金収入が年々減少する中、100%付近を推移しています。
 - 全国平均や類似団体と比較すると、経常収支比率は低い水準となっています。
 - 今後、経常収益が増加する要因がないなかで、老朽化した管路の更新投資に伴う減価償却費負担増、近年の物価や燃料費高騰による費用の増加等によって経常収支比率は悪化していき、100%を下回っていくことが予測されます。
- ※収益を費用で割った指標で100%を下回ると赤字状態であることを示します。

企業債(借金)の状況

現在、水道局では、収益に対して8倍程度の企業債を有しています。特に私市ポンプ場の築造工事で、その財源の多くを企業債で賄ったため現在の残高規模となっています。

- 類似団体と比較すると、企業債の保有水準は2～4倍程度高く、残高が比較的多い状況です。
- 設備更新の財源を企業債に依存しすぎると、将来世代に大きな負担を残すこととなります。世代間の公平性の観点からも、企業債の圧縮が急務です。

資金残高(貯金)の状況と将来シミュレーション



- 資金残高は、資金収支の赤字を補填するため、近年減少を続けています。
- 現状の料金水準を維持して、経費削減等の取り組みを反映した将来的なシミュレーションを実施した結果、今後も損失は拡大し、資金残高は令和12年度に枯渇する見込みとなりました。